

Banco Sumitomo Mitsui Brasileiro S.A. DAILY MARKET REPORT

BANCO SUMITOMO MITSUI
BRASILEIRO S.A.

Treasury Department

マーケットサマリー

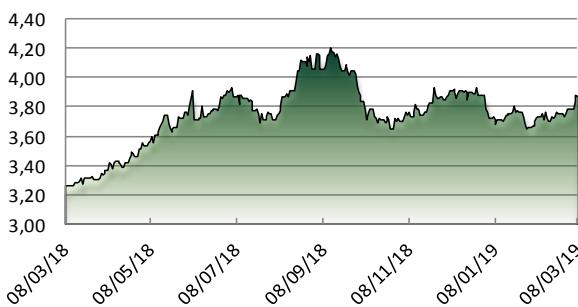
先週末のドルレアルスポット相場は、米雇用統計前後で一時3.90台に到達するなど、序盤はレアル売り優勢で推移したが、引けにかけてはレアル買戻しに転じ、3.86台半ばで取引を終えている。注目された米2月雇用統計では、非農業部門雇用者数が前月比2万人増と、約1年ぶりとなる低い伸びに留まった一方(前月分は速報値の30.4万人増から31.1万人増に上方修正)、失業率は3.8%と約50年ぶりとなる水準にまで低下。平均時給も前月比0.4%増(前月0.1%増)へ伸びが加速するなど、一部では明るい兆しも見られたが、年初から世界的な景気減速懸念が意識される中では、全体としてはリスクセンチメントを悪化させる内容と言えよう。グローバルにドル売りの反応が強まったことで、カーニバル明け以降レアル売りが加速していたレアル相場もやや落ち着きを取り戻した。ただ、ブラジル国内では引き続き楽観視できない状況が当面継続する見込み。Bolsonaro大統領は年金改革法案への支持を取りつけるべく、自身のソーシャルネット上で、「改革は雇用と安全、健康、教育への投資を拡大するとの目標を達成するために必須」、「既存の特権と闘い、ブラジルを将来の成長へ導かなければなければならない」、「我々は将来ギリシャになることを望んでいない」と改めて訴えているが、Estado紙がGuedes経済相の発言として、「政府は下院を通過させるための支持票に後50票程度足りていない」と報じるなど、法案承認の見通しは依然として暗く、海外投資家の不信感を払拭するには至っていないが実情。

マーケットデータ

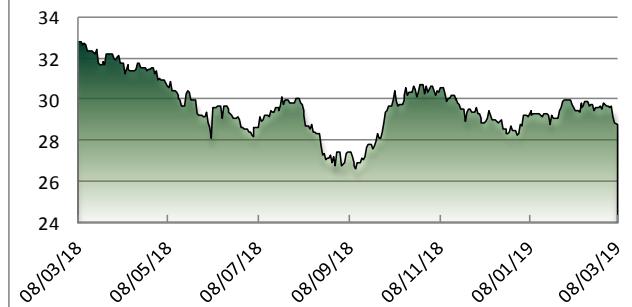
Indicator	Unit	3月7日	3月8日	前日比	1ヶ月前比	(年初来) 高値	(年初来) 安値	
レアル	対ドル	BRL	3,8759	3,8658	-0,26%	3,59%	3,6374	3,9032
	対円	JPY	28,82	28,75	-0,24%	-2,28%	30,08	27,71
	対ユーロ	BRL	4,3342	4,3415	0,17%	2,73%	4,1646	4,4568
円	対ドル	JPY	111,58	111,17	-0,37%	1,31%	104,87	112,14
	対ユーロ	JPY	124,90	124,88	-0,02%	0,50%	118,71	127,50
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index	94.340	95.365	1,09%	0,02%	98.589	87.536	
CDS Brazil 5yrs	bps	165,30	164,14	-0,70%	-5,18%	209,52	153,78	
Brazil 10yrs Gov. Bond	%	9,04	9,00	-0,44%	-0,39%	9,24	8,70	
DI Future Jan20 (金利先物)	%	6,48	6,47	-0,23%	-0,84%	6,69	6,33	
3 Months US Dollar Libor	%	2,60063	2,59663	-0,15%	-3,75%	2,8039	2,5945	
CRB Index (国際商品指数)	Index	180,87	180,67	-0,11%	1,48%	184,66	168,26	

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート



〈オンプスマントラクション: 0800 722 2762〉

本レポートは情報の提供目的としており、何らかの行動を喚起するものではありません。ここに示した意見は本レポート作成現在の筆者の意見を示すのみです。データや数値の抽出範囲・基準は任意で設定している場合があります。データ・資料等については、数値等の誤りが含まれている可能性があります。本レポートに基づき、お客様が投資のご判断をされた結果生じた損害・損失については当行は一切責任を負いません。投資や資金運用に関する最終決定は、お客様ご自身で判断されるようお願い申し上げます。本レポートの全部または一部の無断コピー・転載はご遠慮頂きますようお願い申し上げます。